

## 令和5年度 第2回 葵西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年7月7日（金） 午後2時00分から午後3時40分まで
- 2 開催場所 葵西小学校 2階 会議室
- 3 出席委員 長谷川 良樹、古山 照美、石井 朋子、村井 レティシア
- 4 欠席委員 辻岡 和代、松尾 真由美
- 5 オブザーバー 佐藤 拓男（北部協働センター 所長）
- 6 学 校 水野 希樹（校長）、古橋 智一（教頭）、寺田 善一（教務主任）  
廣瀬 高志（生徒指導主任）、中村 成一（CS担当）  
工藤 敬子（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 工藤 敬子
- 9 議長の選出

前回推挙された古山委員が本日の議長を務めることを了承し、全員異議なくこれを承認した。

### 10 協議事項

- （1）葵西小の子供たちの様子について
- （2）「葵西小よい子の一日」について

### 11 会議記録

司会の教頭から、委員総数6人のうち4人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### （1）葵西小の子供たちの様子について

協議に先立って行われた授業参観の感想を交えて話し合った。委員からは以下の発言があった。

- ・ 高学年を見学し、低学年の頃と比べ落ち着いた姿を見て安心した。（長谷川委員）
- ・ 外国語の授業は活気であふれ、楽しく進められていて良い。他の授業でも皆が集中して取り組んでいた。テストをしているクラスでは、外国人の子供の隣に入り込み支援があつて良い。（村井委員）
- ・ 静かな印象。外国語の授業が午後にあるクラスは、眠くならず集中できて良い。教科書を映像に映して、黒板と映像を使えるので提示場所が広く、見やすく良い。また、貼り出された作品の中で、墨を使った作品が素敵だった。（石井委員）
- ・ 以前は保護者参観会と一緒に参観していたが、今日は普通の日、いつも通りの子供たちの様子を見せていただき、とても良かった。（古山委員）
- ・ 子供たちが年々大人に対してフレンドリーな態度を取る傾向があり、校長先生や他の大人と友達のように話す姿が増え、好ましく感じる。今日の参観中、手を振ってくる子供もいて、以前は大人との接触が少なくシーンとしていたのが普通だったが、あいさつ運動のおかげで増えてきたと感じる。（長谷川委員）

協議の結果、子供たちの実態や目指す姿が共有された。

(2)「葵西小よい子の一日」について

議長の指示により、生徒指導主任から、別紙資料に基づき、学校の決まり「葵西小よい子の一日」について説明があり、今後校則を外部に公開する際には、どのような形が最適かを協議して欲しい旨の提案がされた。委員からは以下の発言があった。

- ・ 給食の「マナーを守って食事をします。」マナーとは何か。食べ切れなかった給食についてどう指導しているのか。(村井委員)
- ・ 「肩にかかる髪はゴムで縛ります。」とあるが、理由は何か。(村井委員)
- ・ 休み時間の総合遊具の3年生以上の遊び方はどう指導しているか(長谷川委員)
- ・ 「遊具では鬼ごっこ、ボール遊びなど危険な遊びはしません。」とあるが、意図は何か。(長谷川委員)
- ・ 雨の日に、グラウンドが使えないことを示すために、以前は外に赤いパイロンを置いていたが、今はどうか。(長谷川委員)
- ・ 近隣スーパーのゲームコーナーが新しくなり、以前よりも明るい雰囲気になったため、子供たちが早い時間帯に一人で行っている話を聞いた。現在、見回りは行っているか。(石井委員)
- ・ 以前に条例が変わり、遊技場における子供だけの利用時間と保護者同伴の利用時間が区別されているが、売り上げに関わるため、店長によって実施が異なることがあると聞いたことがある。学校側では、ゲームコーナーが条例に従って営業しているかどうか、把握しているのか。(古山委員)
- ・ ゲームコーナーに子供だけで行ってはいけない理由は何か。(村井委員)
  - ゲームコーナーはお金がかかること、子供同士でお金の貸し借りも起こりやすく、お金に関するトラブルが起きやすい場所である。学校では、子供たちの間でお金の貸し借りは絶対しないと指導している。また、年齢制限のあるゲーム機を子供が区別しにくく、判断をすべて子供に任せるわけにはいかないため、大人が子供と一緒にいなければ困るという考えである。(学校)
- ・ お金よりも心配なのは不審者。不審者から声を掛けられたり、不審な人物が現れたりする可能性がある。(村井委員)
- ・ ゲーム機の音量も大きい中、子供が不審者に声を掛けられて、物陰に連れていかれそうになっても、周囲の音で気付かれない気がする。この危険性も発信する必要があると考えるが、学校側が直接保護者に伝えることではないと思う。そうなると、PTAや保護者間のコミュニケーションが重要になる。昔は参観会後の懇談会などで話題に上がることが多かったが、現在の保護者の認識が気になる。(古山委員)
- ・ 学区外から来ている中学生、高校生が集まっていた場所があった。(古山委員)
- ・ そういう場所に保護者や地域の人が顔を出せるなら出した方がいい(長谷川委員)
- ・ このエリアでは大型トラックが頻繁に通るため、自転車に乗る際にはヘルメットを被る意識が最初からあった。子供たちは義務化される前からヘルメットをかぶっており、今の大人よりもヘルメットをかぶることを当然だと思っている。(古山委員)
- ・ 幼児用自転車にはライトがついていない。冬場で暗くなっても平気で乗っている

子もいる。また、壊れたライトに気づいていない場合もあり、親子で自転車の点検を行うことが望ましい。(古山委員)

- ・ 高校生の自転車走行の方が、歩道を走ったり逆走したりすることがあり危険である。彼らはルールは関係ないと言ったり、知らないと答えたりしている。交通ルールを正しく教えなければならない。「交通ルールの遵守は個人の判断に委ねるから決まりの文章から削除する。」というのはいくると感じる。(長谷川委員)

→ 決まりに書いてなかったとしても、自転車でヘルメットをかぶることが交通ルールであり、命に関わる重要なことであるため、学校から指導するべきだという意見がある。決まりに明記することで子供たちの意識が高まると考えられるが、具体的にどの部分を削除してどの部分を残すかは難しい判断になる。

他にも、「日没前に帰ります。」ということについて、学校が帰宅時間の目安を示すのはどうかという意見があるが、学校として子供の安全を考慮し、目安として時間を明記することは許容するのが現状かとの思いもある。(学校)

- ・ この決まりには「放課後学校に遊びに来たら」という表現があるため、他の場所の門限とは思っていない。学校以外なら何時でもいいと思われてしまう可能性がある。各家庭の事情は様々であるが、学校には決まりがあることを理解してもらうことが大切。(古山委員)

- ・ 時間は言った方がいいと思う。学校は遊ぶためだけの所ではない。(村井委員)

- ・ 地域の施設利用を考慮した帰宅時間と言えば保護者は分かる。(長谷川委員)

→ 時間表記については、学校の立場では経緯や状況を考慮し、このような時間を設定している。現時点では特に問題がないように思われるが、時代の変化や見直しの流れによって今後変更される可能性もある。(学校)

協議の結果、葵西小学校の決まりについて、今回の意見を考慮して校内職員で調整し、次回の運営協議会で再度提示されることになった。

#### その他報告連絡事項等

- ・ 教務主任から、今年度の学校評価アンケートの実施見通しについての説明があった。
- ・ 司会の教頭から、次回以降の開催日程について連絡があった。
  - 第3回 令和5年10月5日(木) 14:00~16:00
  - 第4回 令和6年2月20日(火) 14:00~16:00
- ・ 司会の教頭から次回、「よい子の一日」について、さらに校内でも検討したものを提示し、令和6年度の学校の決まりを整理していくという方向性が示された。
- ・ 次回議長について、石井委員から、長谷川委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なく、長谷川委員をお願いすることが決まった。
- ・ 学校運営協議会自己評価の実施の流れについて司会の教頭から説明があった。